

平成11年4月～平成12年3月末までの会計収支決算は下記の通りとなりましたのでご報告いたします。

収 入	金 額	支 出	金 額
繰 越 金	14,809,065	同窓会記念品	56,700
同 窓 会 費 (保30期教11期)	960,000	会報、名簿等印刷代	200,550
同 窓 会 費 (過年度分)	66,000	会報等発送料	197,790
同窓会総会時費	255,000	会報発送等アルバイト料	20,000
利 息	26,708	同窓会総会時諸費用一式	1,113,770
		同窓会総会時参加者記念品代	27,300
		同窓会総会時学校への記念品代	105,000
		その他 (消耗品、切手、手数料等)	25,630
(イ) 計	16,116,773	(ロ) 計	1,746,740
収支差引次期繰越金 ¥ 14,370,033 (イ-ロ)			

会計報告

2001年、新しい千年の始まりの年、節目の年が明けました。21世紀の幕開けです。世紀末の昨年は、さすがにいろいろありました。特に17才がキーワードでした。そして、あちこち



同窓会 会長 下澤 和枝

で、地震がありました。身近な所で、有珠山の噴火があり、同窓生の方々の中にも、被害にあわれた方が多くいらっしゃるのでないかと案じております。このまま、静かに過ごして欲しいし、1日も早い復興を願っています。また介護保険の導入がありました。介護については、少なからず次回にひかえている我々は、今、予備軍といった所でしょうか。一つ前の世代をどうやって社会全体で見ているのかまだ暗中模索の状態ですが、自分の事は自分でできるのです。今は、主人の母と同居しています。今は

新しい世紀に向けて



第17号
発行 平成13年3月31日
発行所 文化女子大学室蘭短期大学同窓会
室蘭市高砂町3丁目11-50
印刷所 富士印刷株式会社

1期生〜14期生の卒業生の方で終身会費を納入する場合は、郵便局に備え付けの、振込用紙をお使いになり、郵便振替でお願い致します。口座番号は次の通りです。
◆口座番号
0275616116739
◆口座名
文化女子大学室蘭短期大学同窓会
尚、振込みの際には、振込用紙の通信欄に、宛名シール下に記載の「通し番号」を、必ず記入していただきますよう、お願い致します。(この番号は卒業証書の番号と異なることがあります) その他ご意見、ご質問等ございましたら、併せてご記入下さい。

文化女子大学50周年記念式に参加しました

同窓会会長 下澤 和枝

去る4月20日、東京の文化女子大学開学50周年記念式に、室蘭短大同窓会として、私と役員の内村啓子さん(保1)が出席致しました。東京在住の大坂喜久乃さん(保1)と五十嵐百子さん(生19期)も参加しました。
短大からは、助教授の伊藤好恵さん(服1)が出席。一応短大同窓会関係者5名で出席しました。新宿に堂々とそびえ立つツインビルの校舎を、間間先生の案内で見学させて頂きました。
東京の同窓会である、紫友会の会長さんとお会いし、これからのお互いの活動をたええあい、協力しあう事を約束しました。
刺激をもらい、活力をもらい、元気をもらい、室蘭同窓会の活動をこれからも盛り上げていきたいと誓いました。

正直言って以前は、なぜ私だけかと思つたこともありましたが。しかし、自分も将来、誰かの手や力を借りる事になる。人間はみんな、誰かの力を借りる事をさとりました。これは避けられないということ。できる時に力を貸すことが人としての道であると考えられる様になりました。20世紀は、私たちが育ててきたあかしの集大成の世紀である。限りある資源をいかに長くもたせる為にどうすべきか、自然をどの様な形で未来へ残すべきかを考え、美しい地球を未来の子供たちに渡してあげるのが私たちのつとめだと思います。リサイクルしかり、省エネしかり、始めていますね。
新しい世紀の幕開けにふさわしい決意をしようではありませんか。未来の子供達のために!!

フォト '00 第31回文大祭より



お知らせ
高校生のための進学フェスタ
平成13年10月27日(土)
文大祭一般公開(第32回)
平成13年10月27日(土)・28日(日)
文大祭見学と個別相談に応じます。お気軽にご参加を...

平成十二年度を振り返って

主事 北浦 晃



一年間を振り返り、個人的に大きな出来事は七月一日付で、主事になったことです。もとよりそんな器でないことは卒業生の皆さんがよく知っていることですが、年度内は教務部長も兼任のままでした。平成十二年度というのは、西暦では二〇〇〇年から二〇〇一年、二十世紀から二十一世紀に変わる大きな節目の年でした。
それは文化女子大学にとっては創立五十周年の記念の年でもあり、四月二十日には新都市キャンパスで式典と祝賀パーティーが行われました。これには、室蘭市の関係者も出席されるので、私も参加しましたが、同窓会の下澤会長をはじめ、室蘭から北村さん、室蘭短大の伊藤先生、東京在住の大坂さんなど一期生も出席してくれました。日本に短期大学の制度ができて、全国に国公私立の短期大学が一斉に発足したのが一九五〇年で、それらの短大や、四年制になった大学がそろって五十周年を迎えた訳です。一期生と話して面白かったのは、文化女子大学って私たちが生まれた年にできたんだと、という人がいて、文化女子大学も日本の短期大学制度も、わが一期呼びかけて、この文を終わります。
先日、一年生に集まってもらって、新しい世紀を迎えて、先生も学生も一緒に志を持って頑張りたいよという話しをしました。卒業生の皆さんにも同じことを

私達、頑張っています

今、とつとも輝いている同窓生を2名ご紹介いたします。

室蘭の活性化につながる
仕事にたずさわって、
やりがいを実感しています

室蘭商工会議所 総務部総務課

萩原 香織
教養学科7期生

平成8年3月
教養学科 秘書・
ビジネスコース卒業

商工会議所というのは、皆さん
存在は知っていても、どんなこと
をやっているのかは、意外と知ら
れていないですね。会員（企業や
商店の経営者）の方と、
行政（市）や市民の方
たちとの橋渡しのよう
な役割なんです。

私は総務部総務課に
おり、会議のための資
料作りや、会員の方
たちの管理などが主な仕
事です。入社して5年
目になり、私のやって
いる仕事が室蘭市の活



夢が叶う人生を

保育科29期生 斉藤 晶恵

短大を卒業して2年が経とう
としています。現在は附属幼稚
園でクラス担任をし、忙しくも
楽しい毎日を送っています。

高校3年生の進路を決定する
時、実家から通える文短を選び
ました。文短には保育科と教養
学科の2つがありますが、迷わ
ず保育科に入りました。

保育科で、幼稚園教諭や保育
士になるための勉強をしました。
2年間、勉強もしましたが、た
くさんの友達と出会い、いろい
ろな面で充実した学生生活を送

短大に入ってから幼稚園教諭を
目指すようになったと思っていま
したが、幼稚園で働くようになって
からそれは違っていたと知る出

フェルトがもっている
ソフト感と暖かかって、
北海道の広大さに
どこか似ています。

フェルト作家

橋 記子
教養学科2期生

平成3年3月
教養学科 美術コース
（現・造形デザインコース）卒業
文化女子大学 家政学部
生活造形学科に編入学

室蘭短大時代のことで印象
に残っているのは、当時美術
コースは道外出身者が多く、
私も含めて下宿生活をしてい
たので、そんな仲間が集まっ
て、すごく親しく家庭的な付
き合いがあったということだ
す。

室蘭短大を卒業してから文
化女子大学に編入学して、そ
の後ずっと東京や横浜で暮ら
しています。今はフリーの立
場で、一応フェルト作家とし
て世間にも認められるように
なったのですが、私の作品の
原点は、やはり北海道にある
ような気がします。



フェルトの良さは、身のまわり
のバッグやポーチなどの小物を誰
でも気軽に制作できるということ
です。作品を作る時はデザイン画
も描きませんが、織物のような縦
糸・横糸の計算の必要もありません。
頭の中でおおよそのイメージ
を考えて、作る過程でカタチや色
を少しづつ固めていきます。
年に数回個展を開き、ショップ
の注文で作品を作ったりしていま
すが、これからも、生活を楽しま
ながらマイペースでフェルト作り
を続けていきたいと思っています。



来事がありました。私が小さな
幼稚園の誕生会で、私が小さな
時に使ったものを
紹介される
事になり、
何にしよう
か探してい
ると、子ど
もの頃の絵
や文集が出
てきました。
その中には
幼稚園の卒
園文集もあ
りました。
読んでみる
と驚く事が
書いてあり



川崎先生の講演会



短大で市民のための特別公開講
座をやっている事は、新聞などで
知っていて、参加してみたいと思
っていました。

9月8日の「日常生活とストレ
ス」一歩やらかな生活を目標し
てーは、学生の時に教えていただ
いた川崎先生で、興味のある題な
ので、参加しました。

「ストレス」という言葉は、普
段から、よく言い、よく耳にする
言葉ですが、正直いって、わから
ない所がたくさんありました。

今回のお話は、「ストレスとは
なにか」からはじめて、「なく
すにはどうしたらいいか」とい
うところまで、うなづける部分
がたくさんあり、楽しく聞くことが
できました。その中に、相田みつを

さんの詩を引用しての『ストレ
スはいつも、自分の心がきめる』
というのと、『なんでも、ほどほ
どに』というのがありました。

問題に直面した時、くよくよ
考えこまずに、時には流してい
く事や、前向きな気持ちで、柔
軟性をもった対応をみつけた事
、物事の達成（期待）度は完
璧ということにこだわらず、少
し上げて考える場合も必要であ
ると教えてもらいました。

今回の話を参考に、ス
トレスをかかえこまないように、
笑顔をとくさんみせられるよう
な日常生活を過ごせるように努
力していきたいと思っています。

保育科5期生 谷藤のり子
（写真後列左）

水芭蕉

保育科1期生 北村 啓子

昨年4月、本校の文化女子大学
創立50周年記念パーティに招待さ
れ（半ば押しかけ）会長他4名が
出席。卒業生が招待されるのは異
例の措置で、まあ一期生の役得と
云うべきか。本校では雲の上の人
の大沼学長と腕を組んでツーショ
ット。それにしてもデカイ、迷子
になった。大した施設である。新
宿の一等地（？）ですよ。学生食
堂の広いこと、メニューも豊富。
留学生も沢山。日本の世界のファ
ッション界のリーダーを大勢排出し
ているんだ。私達の学校は。

一期生は30年前に研修旅行と称
して本校を訪れている。貴女達も
機会がありましたら、一度訪ねて
みるといい。違う目で室蘭の文短
が見えますよ。

話は変わるが、銀座の松坂屋で
その日のパーティ用のミュールを
買った。甲高、扁平、外反母趾の
足には二時間もたなかつた。

連絡乞う

保育科1期生 大阪喜久乃

主人公トトの親友で映写技士の
アルフレッドが死んだ。トトの母
親はトトへの連絡に苦心する。
トトにとって映画館の映写室は
幼い頃から遊び場であり仕事場
であった。アルフレッドは青年にな
ったトトに言う。「村を出る。も
うお前とは話さない。お前の噂を
聞きたい。帰って来るな。私達を
忘れる。ノスタルジーに惑わされ
るな。手紙も書くな。自分を愛せ
子供の頃映写室を愛した様に」と。
かくして30年間帰郷せず映画監督
になったオッサンのトトはアルフ
リード葬式の日、村に帰ってくる。
私の大好きな映画「ニュー・シネ
マパラダイス」のお話。

私も、短大を卒業して30年、室
蘭を離れて20年、一度も帰郷した
ことはない。と言えればカッコイ
イのだが、何かと理由をつけては
絡乞う！

保育科1期生大阪（旧姓秋田）
喜久乃。何が何だか解らない人連
絡乞う！「ニュー・シネマパラダ
イス」を観た人、観てない人の連
絡乞う！

◆◆編集後記◆◆
今年こそは、じっくりと紙面づ
くりに取りかかりたいと思いつつ、
またもや一夜づけ(?)になって
しまいました。マンネリ打破、多
くの方の意見や原稿をと、構想だ
けはあるのだが、文才のなさが
ウラメシイ。
会報づくりのスタッフ募集中!!
若い力を貸して下さい!!
お待ちしています!! (K・S)